

## 全体計画の作成や見直しを

### もくじ

- 総合的な学習の時間について…1
- キラッと輝く子どもの先生の笑顔 …2
- C 調査問題について …2
- わくわくスポーツセミナー …3
- 人権スキルアップ講座 …3

そもそも、全体計画ってなに？運営計画と違うの？  
来年度から新学習指導要領での実施になるけど・・・  
全体計画ってどこを見直せばいいの？



### 「全体計画」と「年間指導計画」と「運営計画」は異なります

- 全体計画：学校として総合的な学習の時間の教育活動の基本的な在り方を示すもの
- 年間指導計画：1年間の流れの中に単元を位置付けて示したもの（単元名・時期・時数等）
- 運営計画：教科等の管理・運営の方針や学校の取組を示したもの（係としての計画）

### 季節の花だより



「パンジー」  
花言葉 “つつましい幸せ”  
2018/1

※まずは、全体計画を作成して、総合で目指す方向を職員間で共有しましょう。詳しくはこちら



今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開  
第2編  
～文部科学省～

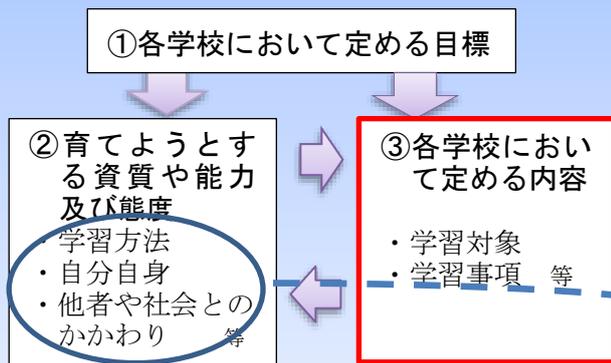


### 新学習指導要領により、全体計画の必須の要件が変わります

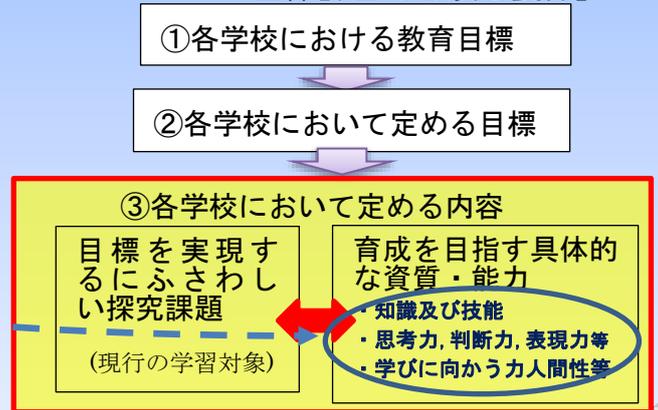
※全体計画の必須の要件がすべて明記されている学校は4割弱です。全体計画の見直しを通して、探究課題（何を学ぶか）と育成を目指す具体的な資質・能力（何ができるようになるか）とのつながりを明確にすることが求められています。



#### 【現行学習指導要領における 全体計画の必須3要件】



#### 【新学習指導要領における 全体計画の必須3要件】



全体計画の作成・見直しに合わせ、2月20日（火）21日（水）に、集中相談日を設けました。新学習指導要領での授業開始に向け、より充実した全体計画作成のお手伝いをさせていただければと思います。詳細は、1月18日（木）にメールで配信したお知らせをご覧ください。



平成29年度重点目標・キーワード  
生涯学習課  
“学びをつなげて 人づくり 地域づくり”  
学校教育課  
“語り つなぐ”

雪や寒さが厳しい日々ですが、健康に気を付けつつ、子どもたちの笑顔のために、ともに語らしましょう。事務所だよりについても、ご意見・ご感想・ご希望の記事等をお寄せください。（メール [hokushin-s@pref.nagano.lg.jp](mailto:hokushin-s@pref.nagano.lg.jp) まで）

# PC問題を解いてみよう!

英作文、苦手だなあ…。書きたいことはあるけれど、どう書いたらいいのかわからない。



## 「まとまりのある文章を正しく書く」ための段階を踏んだ指導

【3】あなたは英語の授業中に下記のテーマで英文を書くことになりました。テーマに対して答えるために、「①」に合う表現を書きなさい。また、「②」には主語と動詞のある英文を書きなさい。

作文テーマ:

「ロボットができること」、また「ロボットができることについてどう思うか」を書きなさい。

Some robots can ( ① ), I think that ( ② ) .

《H29 C 調査問題 中学校2年 英語 2【3】》

## 授業改善のポイント①

★生徒が、既習事項から必要な文法事項や表現を選択して、書く見通しをもつ場を位置付ける。

can のあとには動詞、I think that のあとには主語+動詞になるのね。なんだか書ける気がしてきたわ。



Some robots can ( help people ). I think that ( it is great ) .

## 授業改善のポイント②

★観点を明確にして生徒同士が読み合い、まとまりのある文章になっているか確認する場を位置付ける。

私の書いた文章の「Some robots can help people.」と「I think that it is great.」は関連しているかどうか友だちの意見も聞いてみたいなあ。



「人々を助ける」ことは「素晴らしい」といえるね。関連していると思うよ。

# キラッ☆と輝く 子どもの先生の笑顔 vol 6

学校訪問で出会った「笑顔」をコラム風に紹介します。

自分が見えがくY小学校とその他のための具体策を班で話し合い、学年集会で提案していく単元◆Aくんは、時間をかけて「仲良くなるために挨拶を増やす」という提案を考えました。T先生は、班の話し合いの際、互いの提案が見えるようにホワイトボードを用意した。そのホワイトボードに貼られた各自の提案の画用紙を動かしながら、Bさんが「なかなか共通点が見つからないな」と迷うように、「挨拶とレクで分ける?」と聞いた。Aくんはしばらく提案を考えていたが、やがて「キーワード的なもの」とつぶやいた◆「キーワード」それは、子どもたちがこれまでの話し合い活動を通して学んだ、様々な意見の共通点を見つけるための視点だった。その視点をもとに共通する部分を見つけていこうとする子どもたち◆Bさんは、Aくんのつぶやきを契機に「つながるところは…」と、ホワイトボードを見つめ体験を語り出す。「レクで知らない人と仲良くなつて、挨拶するよう

Y小学校 五年 国語科  
「Y小学校をつくる わたしたち」  
子どもたちの思いをつなぐうとするT先生は、国語の授業で相手の意図を捉えようとするところにもつながりが生まれるのではないかと考えた。

になったよ。それを聞き、Cくんが「BちゃんとAくん(の提案) 同じこと言ってる」とつぶやく◆ホワイトボード上では、個々の提案が矢印でつながっていく。相手の意図を捉えようとする中で、三人は自然と相手に自分を重ね、心でもつながっていくようだった。そしてホワイトボードには、三人の思いをつないだ新たな提案「交流で仲良くなり、あいさつできるY小学校にしよう」が生まれた◆それを見つめ、Aくんは照れくさそうにほほえんだ「これって、三人いたからできたとかあるかな」。苦労して考えた自分の提案が友の提案とつながっていった成就感。Aくんにとって、この三人で創り上げたホワイトボードは、友とのつながりを表す大事な証になった◆教室には苦手意識をもっている子どもが、いつも安心して友に心を開いている姿がある。友は自分の考えや言葉の意図を捉えようとして寄り添ってくれているのだという実感や、皆で考えることによりよい考えや表現が生まれることを知っているからこそ生まれる姿だろう◆後に行われた、お楽しみ会を計画する話合いで友の提案の意図を大事にして検討する子どもたち。それを笑顔で見つめるT先生。教室に広がる温かい空気は、子どもや教師のつながりによって生まれ、全体をじんわりと優しく包んでいる。

になったよ。それを聞き、Cくんが「BちゃんとAくん(の提案) 同じこと言ってる」とつぶやく◆ホワイトボード上では、個々の提案が矢印でつながっていく。相手の意図を捉えようとする中で、三人は自然と相手に自分を重ね、心でもつながっていくようだった。そしてホワイトボードには、三人の思いをつないだ新たな提案「交流で仲良くなり、あいさつできるY小学校にしよう」が生まれた◆それを見つめ、Aくんは照れくさそうにほほえんだ「これって、三人いたからできたとかあるかな」。苦労して考えた自分の提案が友の提案とつながっていった成就感。Aくんにとって、この三人で創り上げたホワイトボードは、友とのつながりを表す大事な証になった◆教室には苦手意識をもっている子どもが、いつも安心して友に心を開いている姿がある。友は自分の考えや言葉の意図を捉えようとして寄り添ってくれているのだという実感や、皆で考えることによりよい考えや表現が生まれることを知っているからこそ生まれる姿だろう◆後に行われた、お楽しみ会を計画する話合いで友の提案の意図を大事にして検討する子どもたち。それを笑顔で見つめるT先生。教室に広がる温かい空気は、子どもや教師のつながりによって生まれ、全体をじんわりと優しく包んでいる。

【このエピソードから何を感じましたか?】

【このエピソードから大事に考えたいこと】

- 提案の共通点を見つけようとする中で、提案を支える意図を捉えようとしていく子どもたち。
- 一人一人の提案を大事にしてつなごうとすることで、互いの存在の大切さに気付いていく子どもたち。



# 第2回 わくわく わくわく スポーツセミナー



10月29日(日)長野市営柳原体育館で「第2回わくわくスポーツセミナー」を開催しました。講師を長野県体育センター専門主事 服部 大輔 さんをお願いし『ここからからだを育む幼少期の運動・遊び～長野県版運動プログラム(幼・保・小)の実践を通して～』をテーマに研修を行いました。服部さんには、豊富な研究・実践もとに、乳幼児から児童まで系統的・発展的に取り組める運動・遊びをご指導いただきました。参加者には、分かりやすい解説とすぐに生かせる内容が大好評でした。



## 【参加者の感想】

- ・「一つの教材でもいろいろな使い方があり、工夫しだいで様々な使い方ができることを学びました。」
- ・「授業でなわ跳びをやっていて、どのように進めようか悩んでいたのが参考になりました。他の内容もすぐに実践できそうなことばかりでありがたかったです。」
- ・「講習内容が分かりやすく、自分で体験することで子どものできない気持ちや達成感を味わいながら学ぶことができました。」
- ・「保育園でも取り組んでいる鉄棒や跳び箱の指導で、今まで自分が行っていたものと違う視点で解説していただけて勉強になりました。」



わくわくスポーツセミナーは来年度も春・秋2回実施します。各学校、園、市町村教育委員会等を通してご案内します。大勢の参加をお待ちしています。

# 事実に学ぶ人権教育

## ～第2回人権教育実践カスキルアップ講座～

10月5日（木） 中野市人権センター南部集会所・山ノ内町文化センターにて

### ①「中野市における同和問題の歴史と現状および今後の展望～「草つき穴」の現地研修～」

講師：芝内 敏幸さん（部落解放同盟中高地区協議会議長）

#### 【参加者の声】

井上 賢一さん（部落解放同盟中高地区協議会事務局長）

○現地で話を聞く中で、「草つき穴」の話は、切ないものを感じました。しかし、味方になってくれる地域住民の運動があったことも聞き、やさしさという部分も感じられました。展望のひらける話で、こういうものを教材にして使用したら、同和問題に対するイメージも大分変わると思いました。

○毎年、地域の当事者の方が、学校との関わりを続け、子どもたちの学習を通じて、親・家庭も人権・同和問題について考え、意識する機会となっていることがすばらしいと思いました。



### ②「不登校・ひきこみの若者を旅館業を通して支える取組」

#### 【参加者の声】

講師：湯本 晴彦さん（春蘭の宿 さかえや代表取締役）

○従業員や職業体験者の多様性を受け止め、受け入れる旅館全体の姿勢に、目標の共有や仲間を尊重するところを学びました。社会全体も私の職場も地域もこうありたいなと思いました。

○人と組織は、上に立つ者の考え方や姿勢でこんなに変わるものかなと驚くと共に感動しました。様々な人を受け入れ、支え合いながら一つの方角に向かって歩もうとする姿が本当にすばらしいと思いました。

○利益の追求ではなく、人づくりの企業として実践していることがすばらしいと感じました。心に響くものがありました。

